

国語科学習指導案

実施学級 第3学年 1組39名
実施日時 令和7年11月18日 6時限
実施場所 3年1組教室
指導者 井本 綾子

1 単元名 古今和歌集 仮名序

2 単元目標

歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。また、言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。

3 評価の観点

観点	評価観点別目標
知識・技能	ワークシートに空欄だけではなく自分なりに工夫して書いているかを評価する。
思考・判断・表現	古人の思いを考え、ワークシートに自分の言葉で表現し、記入する。
主体的に学習に取り組む態度	積極的に声を出し、音読をする。 古今和歌集の「仮名序」に込められた作者の思いや和歌の価値観に対して、自分なりの関心や問いをもって学習に取り組むことができる。

4 単元全体の指導計画（全9時間）

第一次	①②/9	授業名	古今和歌集 仮名序
		ねらい	和歌の力や役割について理解を深め、表現技法や構成の工夫に注目し、古典の言葉や表現に親しむ。現代の自分と古典の世界をつなげる視点を育てる。
		「深い学び」への指導ポイント	「仮名序」に描かれた和歌の力（天地を動かす、鬼神を感動させるなど）を、具体的な場面や現代の感覚と結びつけて考えさせる。また、比喩や体言止めなどの技法を見つけ、なぜその表現が効果的なのかを考えさせる。
第二次	③④⑤/9	授業名	君待つと
		ねらい	和歌の鑑賞・発表・意見交換を通して、千年以上読み継がれてきた言葉の面白さや、変わらぬ人の思い、昔と今の共通点・相違点などを深く考える。
		「深い学び」への指導ポイント	和歌の表現技法（体言止め、比喩など）に注目しながら、情景や心情を読み解く力を育てる。昔の人の思いと現代の自分の感性をつなげることで、文化的理解と感性の育成を目指す。

第三次	⑥⑦⑧/9	授業名	夏草
		ねらい	芭蕉の旅と俳句を通して、歴史・文化・人間の心に対する深い理解と共感を育てる。
		「深い学び」への指導ポイント	「夏草」の学習は単なる古典の読解にとどまらず、言葉・歴史・人生・自然との深い対話を生徒に促す。
第四次	⑨/9	授業名	つながる古典・古典名作選
		ねらい	古典を「昔のもの」としてではなく、今につながる生きた言葉や物語として捉える。
		「深い学び」への指導ポイント	作品の理解を広げることで、文学と歴史・文化のつながりを実感させる。

5 本時（第1次 1時間目）

(1) 本時の指導目標

観点	目標	手立て
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 「仮名序」に描かれた和歌の力や役割（例：天地の神々を動かす、鬼神を感動させる、男女の仲を親しくする、武士の心を和らげる）を理解する。 古典の語句や表現技法（比喩、体言止めなど）を正しく読み取り、古典の言語感覚に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 重要語句（例：「心を種として」「よろづの言の葉」など）を辞書や語注で調べ、口語訳に挑戦する。 比喩・体言止め・対句などを本文から探し、効果を考えるペアワークを行う。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 和歌の本質についての筆者の考えを読み取り、言葉の力や人間の感情との関係を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「仮名序」における和歌の役割を、段落ごとに要約し、筆者の主張の流れをつかむ。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 和歌の魅力や「仮名序」の思想について、自分の感じたことを仲間と共有し、対話を通して理解を深める姿勢を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が仮名序の中で印象に残った言葉や表現を選び、その理由や感じたことを書いて共有する。

(2) 教材

モニター、タブレット、ワークシート、教科書、ノート、ワーク

(3) 学習指導場面の工夫

学習形態	場面・工夫
一斉指導	PowerPoint を使い、「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の特徴や歴史的背景についてワークシートを完成させる。
個別最適な学び	ワークシートを活用し、タブレットや辞書、語注を活用し、「難解な語句や表現を自分で調べ、理解し、現代語に訳す」ことで、語彙力・読解力・表現力を高める。
協働的な学び	生徒が仮名序の中で印象に残った言葉や表現を選び、その理由や感じたことを自分の言葉で書いて、班で共有する。

(4) 補足資料

[振り仮名付き本文](#)



[1年生時資料](#)



[2年生時資料](#)



(5) 学習の展開

資質・能力が育成され「深い学び」が実現している生徒の姿				
<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士が互いに音読しながら、言葉の響きやリズム、登場人物の心情に注目している。 話し合いの中で意見が交わされ、互いの考えを尊重しながら議論が深まっている。 根拠となる文章を引用しながら説明する姿が見られ、思考力・判断力・表現力が育成されている。 				
	学習者の活動	「深い学び」につながる学習形態における支援	学習形態	GIGA 端末・クラウド環境の活用
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の練習をする。 本時のめあての確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字ワークを忘れた人はタブレットでミライシートをするように声かけをする。 単元やめあてについて確認させる。 	個別 一斉	タブレット
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 1、2年生で学習した古典の単元について確認をする。 範読をきく。 各自で音読をする。 隣の人と音読をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 竹取物語や平家物語について、簡単に説明をする。 範読をする。 2回ずつ読むことを指示する。 一人になる人がいないように注意しながら机間巡視をする。 	一斉 一斉 個別 協働	PowerPointのスライドをテレビ画面に映す。振り仮名付きの本文をclassroomに投稿したものをみる。 PowerPointのスライドをテレビ画面に映す。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 三つの歌集の特徴や歴史的背景を知り、仮名序の意味を理解し、古人の思いを考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の特徴や歴史的背景についてワークシートを完成させる。 「仮名序」の表現技法に触れ、現代語訳や重要な用語の確認をする。 古人の思いを考え、ワークシートに記入する。 隣の人と意見交換をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを班で完成させる。 PowerPointで補足説明をしながら確認をする。 PowerPointで補足説明をしながら確認をする。 和歌に対する古人の思いを抑えさせる。 	個別 協働 一斉 一斉 個別 協働	

ま と め 5 分	<ul style="list-style-type: none">・ 本時の振り返りをする。・ 次時の連絡をする。	<ul style="list-style-type: none">・ 本時の内容について文章で振り返りをさせる。	個別 一斉	Forms で本時の振り返りを入力する。
-----------------------	---	---	--------------	----------------------